

1 市の概要

人口 1,412,570人
保護率 3.0%

※人口は、平成31年1月1日現在
保護率は、平成30年12月分

2 実施状況（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当
(件) 5.1
プラン作成件数人口10万人当(件) 1.6
就労支援対象者数人口10万人当
(件) 0.6
就労・増収率(%) 66.0

4 事業実績（H30年度）

| | 実利用者数 |
|-----------|-------|
| 生活保護 | 201 |
| 生活保護以外(※) | 111 |
| 合計 | 321 |

※ ひとり親家庭、生活困窮世帯等

2 実施方法について

| | |
|------------|--|
| 実施方法 | 委託（単年契約，随意契約） |
| 事業費 | 14,348千円（平成30年度） |
| 理由 (委託) | ○委託先は、京都市内の39の大学とのネットワークを有し、利用者数に見合う学生ボランティアを支援者として確保することができるのと同時に、子ども・若者の居場所に適した施設を複数運営し、多くの大学等教育機関，子ども・若者関連施設，福祉施設と連携した事業展開が期待できるため。 ○「京都市子ども・若者総合相談窓口」や「京都若者サポートステーション」等，青少年の健全育成のための事業を多数実施しており，本事業との連携による，効果的な支援の実施が期待できたため。 |
| 事業概要 | ○平成18年度から福祉事務所職員有志とボランティア団体が連携し、「生活保護世帯の子どもの学習会」として独自に事業を開始，平成22年度から市の事業として予算化。 ○生活保護受給世帯をはじめ，自立相談支援機関が支援する生活困窮世帯（27年度～），ひとり親家庭の子ども（28年度～）を対象に，高校進学等を支援するとともに，学習会への参加を通じて自立支援や居場所づくり支援を実施。 ○平成30年度は，市内18箇所の拠点で事業を実施するとともに，長期休暇中の集中学習会等を実施。 ○学習会の運営は，拠点毎に担当職員（委託先職員）や必要に応じてコーディネーターを配置するとともに，大学生を中心としたボランティアスタッフ(272人)により実施。 |

5 事業実施のポイント ～大学生ボランティアがマンツーマンで支援～

Point

数多くの大学・短期大学が集積し，人口の約1割が大学生である「大学のまち・学生のまち京都」の特性を活用し，身近な大人である大学生ボランティアを中心にマンツーマンで支援

参加者の9割以上が高校進学を果たしているほか，参加した子どもからは，「ボランティアの学生のような大人になりたい」，「勉強して高校に行きたい」等の声があり，学習支援のみでなくボランティアとの対話を通じた自己肯定感や学習意欲を高めていく取組として実施している。



※ボランティア登録者数
272人

6 取り組んで良かったこと

学生ボランティアをはじめとする他者との良好な関係の中で，家庭環境等の課題を抱える子どもへの学習会を開催することで，安心して過ごせる居場所として，子どもの自己肯定感や学習意欲が高まった。